

## 林羅山

林羅山（1583 年–1657 年）の像は、下呂温泉のまさに中心に立っています。この儒学者が絶賛したことでこの地域の温泉が有名になったため、これは、彼が受けるに相応しい栄誉です。

羅山の著作は江戸時代（1603 年–1868 年）に広く読まれ、彼は高く評価されていました。彼は、当時国を治めていた徳川幕府の最初の 4 代の将軍に助言を行い、様々な分野の幅広い知識を有し、哲学書から紀行文まであらゆる文章を執筆しました。

羅山は有馬（現在の兵庫県）、草津（現在の群馬県）、下呂（当時は湯島と呼ばれていた）を、日本三大温泉街に挙げました。1600 年代初頭に彼が編纂したリストは、禅僧で歌人の万里集九（1428 年–1498 年？）が 200 年近く前に書いたものに同調するものでした。集九が挙げたトップ 3 の温泉には、有馬と草津と一緒に湯島が入っていました。羅山がこの一覧を是認したおかげで、下呂は有名になりました。

林羅山と万里集九は、どちらも阿多野川にかかる橋に記念の像が設置されています。実質的にお互いが向かい合うような形で、橋のそれぞれの側に立っている彼らの像は、人気の地元の名所となっています。